

会 議 録

会議の名称	第4回津山地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和元年11月20日(水)		
	午後 7時00分 開会		
	午後 8時30分 閉会		
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室		
委員出席者	佐々木 大 輔	委員長	津山中学校PTA会長
	佐 藤 良 紀	委員	柳津小学校PTA会長
	菅 原 祐 也	委員	横山小学校PTA会長
	今 野 政 雄	委員	津山中学校学校運営協議会長
	小 橋 三 男	委員代理	柳津小学校学校運営協議会長
	浅 野 茂 美	委員	横山小学校学校運営協議会長
	阿 部 篤 雄	副委員長	津山町行政区長会副会長
	佐々木 江 梨	委員	つやま幼稚園保護者会長
	阿 部 宗 幸	委員	杉の子保育所保護者会長
事務局出席者	小 林 和 仁		学校再編推進室長
	岩 淵 裕 喜		学校再編推進室学校再編推進係長
	菅 野 雅		学校再編推進室主事
	佐 藤 鷹 彦		学校再編推進室主事
説明員	及 川 幸 治	総務部防災課課長補佐	
傍聴者	0名		
議事	統合校の位置について		
挨拶	事務局	開会 午後7時00分	
	委員長	開会挨拶	
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。担当から説明させていただく。	
	事務局	(担当より内容を説明)	
	事務局	前回の会議録について、お渡しした内容で公開してよいか。また、アンケートの調査結果についても公開してよいか。 (異議なし)	
	事務局	それでは議事に入らせていただく。進行については、佐々木委員長にお願いする。	
	委員長	議事1 統合校の位置について事務局へ説明を求める。	
	事務局	(資料に基づき統合校の位置について説明)	
	事務局	(新校舎の建築について説明)	
	説明員	(津山地域の防災関係について説明)	

委員長	説明が終了したので検討に入るが、その前に事務局へ確認だが、これから統合校の位置の検討を行うが、位置の検討が終了した後の流れについて確認したい。
事務局	校舎の位置検討が終了したら、次に通学支援について市の考えを示させていただき、それに対して意見をいただければと考えている。通学支援について、いただいた意見を基に地域別再編実施計画作成し、開校準備委員会へと移行する。また、統合校舎として利用する校舎については劣化診断調査を行い、将来に渡って利用できるように必要な措置を行う。
委員長	仮に劣化診断調査の結果、校舎が利用できないとなれば、統合校舎を再度選定する必要があるということか。
事務局	その可能性を否定することはできないが、校舎については、現時点においても利用できるよう管理しており、基本的には問題なく利用できると考えている。
委員長	まとめさせていただくと、この準備委員会で出た結論を一度教育委員会で検討し、その後は以前の説明にあった開校準備委員会の中で検討を行うということでしょうか。
事務局	はい。
委員長	それでは、検討に入る。検討については、相対評価表の各項目について資料や先日の学校見学などを基に意見をいただきながら進めたい。まずは、「校舎の広さ」、「体育館の広さ」、「運動場の広さ」、「敷地の広さ」について意見をいただきたい。
委員	資料に数字が出ているが、先日改めて校舎を見たことで、今までの認識が変わった。以前までは校舎的に見れば横山小学校という考えだったが、各校舎の特徴を聞き、今時点でどの校舎にすべきか非常に迷っている。
委員	校舎について、単純な広さで言えば中学校ということにはなるが、内部の造りが中学生のためのものとなっている。5、6年生は大丈夫かもしれないが低学年の子が使用するには階段等不安がある。登校坂についても傾斜が急だと思うので、小学生が利用するのは難しいと思う。体育館については横山小学校の体育館の方が柳津小学校のものと比べると新しい。運動場については、柳津小学校の校庭の方が広いが雑草が多くみられるので対応が必要になると思う。敷地については数字で差は出ているが利用していて気になるほどのものではないと思う。
委員	中学校の校舎については、登校坂など小学生が利用するには適していない部分があると思う。小学校の校舎について、横山小学校は、先日の台風19号による水害の影響で横山地区が孤立してしまった。そういった面では問題があると思う。校舎自体は他の校舎に比べると立派だとは思う。柳津小学校は、今後、施設改修を行う上で床暖房等の設備があり、改修費用

		<p>が高くなってしまふ。また、校舎自体が鉄骨造だったと思うので耐用年数が実際どうなっているのか疑問がある。床暖房については、頻繁に動作不良を起こしているといった話も聞くので、修繕費なども多くかかってしまふのでは。体育館、運動場の広さについては、今後の児童数を見ればどの校舎も十分だと思ふ。</p> <p>委員 柳津小学校と横山小学校で比べれば、校舎については、横山小学校の校舎の方が状態が良いように見える。体育館の広さについては、先ほどから言われているが児童数の数を考えれば問題はないように思ふ。校庭の広さについては、新たな施設を設置する上ではある程度の広さがあつた方がよいと思ふ。中学校については、仮にスクールバスで登校坂の上まで乗せるにしても、小学校1、2年生が利用するには問題があるのではと思ふ。建物の老朽化等の対応については、しっかりと修繕を行っていただけのものと思つているので、それほど問題ではないかと思ふが、災害時の子ども達の安全確保が重要だと思ふ。今回の台風19号のこともあるので、それについてどのように盛り込み、位置を決定するかを考えたほうがよいと感じている。</p> <p>委員 周りの人の話を聞くと、横山地域の方は横山小学校、柳津地域の方は柳津小学校といった考えの人が多かつたように思ふ。校舎自体を考えると横山小学校が立派だと感じている。しかし、周辺環境を考えてみると数年前に学校前の国道で小学生が交通事故にあつたこと、また、今回の台風被害など環境面で心配するところがある。いずれにせよ、児童のことを一番に考えて検討したい。個人的には、統合することで通学距離が延びることになる児童が出るのでそこへの対応が気になる。</p> <p>委員 柳津小学校、横山小学校どちらも広さについては問題ないと思ふ。先ほどお話があつた、横山小学校前で発生した事故については、今は歩道橋が整備されたことよつて対応されている。災害対応については、地域が一体となつて対応していくことが大事であり、柳津地域、横山地域両方ともそれができる地域であると思つている。学校毎に長所短所はあるが、総合的に判断すると私は横山小学校が良いのではないかと思つている。今回の台風で校舎の裏山の土砂災害の心配もあつたが、校舎自体に影響もなかつたことから、今後も使用していけるのではと思つている。</p> <p>委員 実際に校舎を見て、以前から他の委員が中学校の校舎を小学生が使用するの難しいと言つていたことの理由が分かつた気がする。正直なところスクールバスの整備ができれば校舎の位置はどちらでも良いのではないかと思つていた。校舎を見て、横山小学校の校舎は、中も明るく、ランチルームなど特徴があると思つた。ただ今回の台風があり、今後、災害が発生した際のことを考えると柳津小学校であれば、何かあつた時に隣の林業総合センターへ避難することもできるが、正直、現時点ではまだどちらとは言えない。</p> <p>委員 校舎見学に参加し、中学校の坂を久々に見たがやはり傾斜が急だと思つた。また、校舎を見て感じたことが、柳津小学校、横山小学校ともに校舎の壁のひびが多く東日本大震災前のものなのか後にできたものなのか</p>
--	--	--

		<p>気になった。体育館、運動場の広さについては、どちらも問題はないと思う。見学会の時に柳津小学校の運動場の雑草が多いとの話になったが、児童数が増えることである程度は改善される部分があると思う。個人的には校舎の劣化具合が気になるので、劣化診断調査により明らかにして欲しい。</p> <p>委員 校舎等の広さに関しては、資料に出ている数字のとおりだと思う。両校とも最低限の基準を満たしてはいるので、その点だけで言えばどちらの校舎でも問題はないと思う。また、先日の校舎見学を行ったことで各校舎の特徴を知ることができた。横山小学校は校舎が広々としており、ランチルームがあることで他の学年との交流の機会を作ることができている。柳津小学校については、床暖房があり、児童の健康面について良い影響を与えている。どちらの校舎にも良い点があり、非常に迷っている。ただ、今後検討を行っていく上では、以前のアンケート調査で意見の多かった、通学時の安全確保及び災害時の安全確保が重要になると思う。横山小学校は地震時のみ利用できる避難所となっているが、仮に児童が学校にいる際に先日の台風の時と同じような状況になった場合、どのような対応を取るのか。その部分が分からないと決定するのは難しい。劣化診断調査によって各校舎の状況が分かればそれを基に検討したい。</p> <p>委員 校舎の劣化診断調査については、全ての校舎に行えるものなのか。それとも校舎が決定してから行うものなのか。</p> <p>事務局 教育委員会としては、位置決定後、利用する校舎に対して調査を行う考えである。</p> <p>委員 位置決定後、劣化診断調査を行った結果、校舎が利用できないとなった場合は、もう一方の校舎についても劣化診断調査を行うことになるのか。</p> <p>事務局 劣化診断調査については、今後利用するにあたって、どの程度の設備改修等が必要になるかを金額も含め、調査するものとなる。従って、校舎が利用可能という前提で調査を行うことになる。校舎が利用可能か不可能かという調査ではなく、今後も利用するということが決まった上で、そのために必要な改修等を調査するためのものとなる。</p> <p>委員 仮に調査を行い、必要な改修について調査結果が出ればそれに基づき予算措置を行い、対応するということか。</p> <p>事務局 調査の結果、利用不可となる可能性も全く無いわけではないが、改修により利用が可能ということであれば必要な改修を行い、利用していくという流れで考えている。</p> <p>委員 教育委員会の方で現状ではどちらの校舎も利用が可能ということを示したものはあるのか。位置が決定し、調査を行った結果、校舎が利用できないといった事態は避けたいので、どちらの校舎も利用できるものがあれば示して欲しい。また、最終的な位置の決定についてだが、準備委員会が出た意見を基に教育委員会で決定するという考えはないの</p>
--	--	--

		<p>か。最終的な決定まで準備委員会の中で行うとなると委員にとっても負担が大きいのではないかと。もう一つ確認だが、災害時のことについて、横山小学校は、地震時のみの避難所となっている。本日は防災課の職員も出席しているということなので質問だが、先日の台風19号の際、これまでに例を見ないほどの大雨となったが、市では津山町については、柳津の老人福祉センターと横山の津山公民館を今回避難所とした。津山公民館については、避難所としての位置づけは横山小学校と同じで地震時のみ利用可能な避難所となっている。避難者の中には津山公民館では裏山が危険と判断し、柳津まで避難した方もいると聞いている。そのような状況の施設を避難所としたことについての考えを教えてください。</p>
説明員		<p>避難所の設置については各総合支所の判断により設置を行っている。ご存じのとおり津山公民館は、土砂災害警戒区域となっているため大雨時の避難所としてふさわしくないとしているところだが、横山地域の人の避難所として必要という判断をしたため今回避難所を開設した。</p>
委員		<p>先日総合支所に伺った際は、本部から設置を行うとの指示があったので設置したと話された。ハザードマップ上で土砂災害のため危険と指定されているにもかかわらず、避難所として利用した際に土砂災害が発生した場合どうするのか。これは横山小学校についても同様であるといえる。もし、今回の雨でも避難可能となればハザードマップにもそのように記載すべきだと思う。そうなれば校舎の位置検討を行う上での材料にもなる。実際はどうなのか。</p>
説明員		<p>土砂災害に関する指定については、宮城県で調査した上でやっている。今回の台風19号によって浸水、土砂の流入などの被害も出ていることから、今後も地震時のみの避難所として考えている。今回の避難所の開設の際も本部からは、土砂災害の危険があると話したが、横山の方の避難所が必要と判断したため、結果、避難所を開設した。</p>
委員		<p>そういった人情的な面からの判断は非常に危険だと思う。これは横山小学校を統合後の校舎として利用することになった際も言えることだと思う。それとも、土砂災害を防止するための措置を行うことができるのか。</p>
委員		<p>再編を行う上で一番重要なことは安全面についてだと思う。校舎についても調査をした上で安全に利用できることが分かれば安心して位置を決定できると思う。それが後回しになっては、安心して校舎を利用することができなくなってしまう。教育委員会でもその部分に対して配慮する形で考えて欲しい。</p>
事務局		<p>当然、校舎の安全性、自然災害への対応については重要であると理解している。校舎については、現状において安全に利用できると考えており、将来的に長く利用するにあたって必要な改修を行うための調査と考えている。</p>
委員		<p>将来に渡って安全だという確約が欲しい。そうでないと再編について理解を得られないのではないかと思います。</p>

委員	個人的には災害についての安全性が気になる、耐久面については65年という数字が分かっているので、水害、土石流等の自然災害に対しての対策が準備できればどちらの校舎になっても理解を得られるのではないかと。そこがはっきりしないと難しい。
委員長	「校舎の広さ」、「体育館の広さ」、「運動場の広さ」、「敷地の広さ」についてある程度意見が出たので、ここまで出た意見をまとめさせていただく。防災関係については、今後の協議の中で再度検討させていただく。先ほどからの意見を踏まえ、校舎選定の対象から中学校は除外し、まずは、柳津小学校、横山小学校の中から選定したいと思うが、委員の皆様の見解を伺いたい。 (異議なし)
委員長	それでは、今後の位置検討については柳津小学校、横山小学校の中から選定を行うこととする。協議を開始してから1時間が経過したので本日の統合校の位置についての協議は以上としたいが事務局から何かあるか。
事務局	今後、柳津小学校、横山小学校の2校で検討を行う上で、先ほど意見があった、現時点での校舎の安全面についての情報など必要な情報があれば、意見をいただければと思う
委員長	何か意見はあるか。
委員	先ほどもお話ししたが、柳津小学校は、躯体が鉄骨造だったと記憶している。校舎の耐用年数の65年というのは、RC造の建物についてなので、柳津小学校の耐用年数について、再度確認して欲しい。鉄骨造とRC造では改修を行うにしても違いが出ると思うので分かるものがあれば準備して欲しい。
委員	確認だが今時点では新築という選択肢は無いということか。
事務局	まずは、既存校舎を活用しての統合ということで検討をしていただければと考えている。
委員長	他に意見はあるか。
委員	仮に、柳津小学校、横山小学校どちらかの校舎を利用するとなった場合、実際に統合した学校に通うようになるのは何年後なのかは決まっているのか。
事務局	校舎の改修、その他の準備等も考えると2年程度だと考えている。
委員	難しい問題ではあるが、あまり時間がかかりすぎると、保護者の中でも自分の子どもは関係ないと思ってしまう人が増えてしまう。

事務局	教育委員会でも時間をかけるべき部分と、そうでない部分を区別して進めたい。
委員長	他に意見はあるか。 (意見無し)
委員長	確認するが、次回の検討にあたって校舎の耐用年数、構造、状況等についてもう少し詳細なものがあれば用意していただく。次にその他について事務局から何かあるか。
事務局	次回の開催日を決定したい。
委員長	次回の開催日についてだが、基本的に月1回の開催とすると、年内中にもう一度開催することになるが、意見を伺いたい。
委員	12月中が忙しいのであれば、無理に開催せずに今回の会議で出た質問、要望等に対しての準備の期間も考えたほうが良いと思う。
委員長	では、1月15日ではどうか。 (異議なし)
委員長	異議がないようなので、次回開催日については、1月15日とする。本日の協議は以上とさせていただきます。ここからの進行は、事務局にお願いします。
事務局	以上で本日の会議を終了する。
	閉会 午後8時30分